

# いきいき長寿課公式LINE 登録をお願いします

☎ いきいき長寿課⑨2125



認知症などで、外出時に見守りの支援等が必要となる高齢者または障がい者が行方不明となった場合に、早期発見に繋がられるような支援体制構築のために、「伊奈町いきいき長寿課LINE公式アカウント」を運用しています。友達登録をして、搜索活動のご協力をお願いします。

## お年寄り世帯

## 見守りたい員募集



☎・☎ いきいき長寿課⑨2125

家族の暮らし方が変わり、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増えています。地域や社会から孤立した高齢者は、病气やけがをしても誰にも気づかれず、孤立死に至ってしまうケースが発生しています。しかし、地域に暮らす周りの人々の少しの気づきで防ぐことができる場合もあります。

高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも安全に安心して暮らし続けられるよう、皆さん自身が地域を支えるボランティアとして、見守りたい員登録をお願いします。

### 見守りたい員とは

地域の高齢者を見守るボランティアです。町内在住の中学生以上の方が登録できます。ご自身が高齢者でも問題ありません。

### 見守りの進め方

生活に負担のない程度で、日常のあいさつや遠巻きのさりげない見守りをお願いします。見守りをしていく中で、異変を感じたときは役場や地域の区長・班長、緊急の場合は警察や消防などにご連絡ください。

### 見守るお年寄りとは

たい員の近所に住んでいる、おおむね65歳以上の高齢者が見守りの対象です。

### たい員の登録方法

たい員募集ちらしのたい員登録届に必要な事項を明記のうえ、いきいき長寿課窓口へ。登録が完了次第、「お年寄り世帯見守りたい たい員証」を交付します。

※町ホームページの申込フォームからも登録申請ができます。



## あなたも認知症サポーターになりませんか？

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者です。

### 認知症サポーター養成講座・ ステップアップ講座

開催予定月▼

●認知症サポーター養成講座

☎ 6月・8月・10月・1月

☎ 町内在住・在勤・在学の方

●ステップアップ講座

☎ 2月

☎ 認知症サポーター養成講座を修了した方

詳しくは、町ホームページをご覧ください。

☎ いきいき長寿課⑨2126



### 1月 開催講座

☎ 認知症サポーター養成講座（認知症の症状・診断・治療・接し方など）

☎ 1月29日(水)10時～11時30分

☎ ゆめくる2階会議室

☎ 町内在住・在勤・在学の方

☎ 30名（先着順）

☎ 地域包括支援センター職員（キャラバンメイト）

☎ 1月6日(月)～24日(金)に、氏名（ふりがな）・住所・電話番号を電話、ファクスまたはメール

☎ 伊奈町南部地域包括支援センター

☎ 795-4900 ☎ 795-4901

☎ inamachi\_nanbuhokatsu@outlook.jp

# お持ちですか?いきいき長寿パスポート

☎ いきいき長寿課 2125

協賛店で伊奈町いきいき長寿パスポートを提示するとさまざまな特典が受けられます。  
特典内容など詳しくは、町ホームページをご覧ください。  
※特典は協賛店のご厚意で提供されています。



- ☑ 町内に住民登録がある65歳以上の方
  - ☑ 窓口に来る方の身分証をご持参のうえ、いきいき長寿課で申請書を記入してください。その場で交付します。
- ※別世帯の方が申請に来る場合は、委任状をご持参ください。

## ▼伊奈町いきいき長寿パスポート（見本）

表



裏

氏名	TEL
生年月日	年 月 日 血液型 型 + - -
住所	伊奈町
かかりつけ医	TEL
緊急連絡先	TEL
氏名	TEL
氏名	TEL

※裏面は、氏名・住所・生年月日のほか、血液型や緊急連絡先などをご記入いただけます。

## ▼協賛店はこのステッカーが目印です



## 協賛店募集中

特典やサービスを提供いただける協賛店を随時募集しています。特典内容は協賛店のご厚意により自由に決めていただき、高齢者が足を運ぶきっかけとして可能な範囲でご協力をお願いします。詳しくは、町ホームページをご覧ください。



## 健康 一回必モ 低温熱傷（低温やけど）とは？

### ●やけどはどんなけが？

やけどは医学用語で熱傷といい、皮膚や粘膜が主に熱で傷害されたけがです。

やけどの重症度は温度と接触時間によって決まります。高い温度、長時間の接触ほど、深く重症になります。熱が高温なら短時間の接触でやけどになりますが、短時間の接触では問題にならない44℃～50℃程度でも長時間接触しているとやけどになり、これを低温熱傷といいます。

### ●低温熱傷の原因は？

低温熱傷の原因は、湯たんぽや電気あんか、電気毛布、使い捨てカイロなどによるものが多い印象です。下腿（膝から下）や足に多くみられ、寝ている時や体が動かせない時にけがをすることが多いです。

### ●低温熱傷の症状は？

やけどは浅い方から深い方へ、Ⅰ度（赤くなりヒリヒリする）、Ⅱ度（水ぶくれやただれ・出血があり、痛い）、

Ⅲ度（白っぽく、硬く、痛みがない）と重症度が分けられます。気がつかずに長時間熱に接してしまうため、低温熱傷は深いやけど、Ⅲ度となりやすいです。痛みを感じる神経が熱で傷害されると、深いのに痛みがなくなります。痛くないからと、軽く考えないようにしましょう。

### ●低温熱傷になったら？

なるべく早く医療機関で診察を受けることをおすすめします。重症ではなくても、正しく管理できないと傷が化膿することがあります。診察までは、石けんやボディソープの泡できれいに洗い、水道の流水で十分にすすぎ、清潔なガーゼなどで保護しましょう。小さな低温熱傷でも、何か月も治らないことや、手術になることも珍しくありません。こじらせる前に皮膚科や形成外科の専門医を受診しましょう。

### ●低温熱傷を防ぐには？

同じ体の部位を、暖房器具に長時間触れないようにしましょう。寝る前に湯たんぽは布団から出す、電気製品は電源を切るなどしましょう。

〈提供：（一社）樋川北本伊奈地区医師会〉